

Message from a Globalist

ワシノ機工株式会社 代表取締役社長
鷺野洋治氏

「日本人は最高のブランドです。」

私 が30年ほどの国際ビジネスに携わった経験から学んだことをお話しします。まず、語学力。私はつたない英会話でも身振り手振りを交えてなんとかコミュニケーションを図りました。通じない時や失敗もありました。伝えられずに悔しい思いをしたこともあります。しかし、英会話はハッキリと大きな声で話せば通じると実感しました。自信がなさそうに話したのでは通じません。しょせんネイティブスピーカーではない、日本人なのだから完璧な英語が話せるわけではないと考えたのもよかったと思います。一生懸命に意志を伝えようとすれば、相手に熱意が伝わります。他にも、話題を豊富に持つこと、何事にも好奇心を持つこと、そして先入観を持たないことも大事です。特に偏見は自分の行動を制約してしまいます。

最近の日本人は日本の歴史や文化を知らないと思います。しかし、国際理解というのは、まず日本の理解なくしてあり得ません。ぜひ日本の歴史や文化を学んでください。海外で日本人を見ると姿勢が悪く貧弱な印象を受けます。日本人そのものが世界に愛されるいろいろなものを作ってきた「ブランド」だと思ってほしい。日本人は最高のブランドです。胸を張って堂々渡り合うべきです。

皆さんの学校のモットーである「Frontier Spirit」。前人未到の地を切り拓く。ロマンのある、血湧き肉踊る、すてきな言葉です。たった一度の人生です。狭い日本にとどまらず、海外で仕事をしたり、親元を離れて他の国の文化を目の当たりに感じたりしてください。海外に行けば日本や日本人の良さもわかるのではないのでしょうか。皆さんには、仕事を通じて自分自身を実現していく、高い目標を自らに課すことで自らをステップアップしていく、そんな人になってほしいと思います。■



Feature

第3回模擬国連会議 (Model UN) を開催!

毎年恒例となった名古屋国際スタイルの模擬国連会議が11月に開催されました。実際に活動した関係者にインタビューをしましたので、その一部を紹介します。

【Interview】

TIMES: 模擬国連とはどのような企画なのですか？

Dan先生: 参加者一人一人が世界各国の大使となって、実際の国連で扱われている諸問題について話し合う国連会議を再現し、その地球規模で解決を図ろうとする国連のシステムを理解するものです。これは国際人の育成をめざす本校英語科の取り組みであり、最高学年の6年生がグループになって実施します。

TIMES: 名古屋国際では模擬国連をいつ頃から授業に取り入れているのですか？



▲小川調帳さん

Dan先生: 中高一貫コースの国際生が最高学年になってから実施していますので、今年が3回目の開催になります。

TIMES: 模擬国連を授業で取り入れているねらいは？

George校長: 事前に割り振られた担当国の外交方針や経済情勢などをグループで調査学習し、決議や宣言の採択にいたるまでの準備をすることで、関係諸国の立場を理解することができます。その国の背景や文化を知らなければ、その国の立場になって意見を言うことはできませんので、この取り組みを行うプロセスで、日本の国際人に必要な能力を培うことにつながっていると考えています。

TIMES: 今年のテーマは何ですか？

小川さん: 私たちのグループは「地球温暖化(Global Warming)」を取り上げました。すでに世界が興味を持っている主要なテーマですが、2050年までにCO₂排出量を50/パーセント削減するという提案について参加国が意見を出し合いました。

TIMES: このテーマで何カ国の代表が参加するのですか？

小川さん: 合計9カ国が参加しました。私たちのクラスの模擬国連会議では、アメリカ、アンゴラ、イギリス、中国、チリ、ニュージーランド、ブルガリア、マレーシア、ヨルダンです。

TIMES: やはり共通語は英語で開催されるのでしょうか？

小川さん: 各国の代表者の発表はもちろんのこと、会議を進行させていくモデレーター(司会)も英語を使用して進めています。

TIMES: テーマが一般的なものであっても、各国の代表として自国の立場で意見する時に、専門的な単語や表現も出てきますよね。その点について苦労はありましたか？

小川さん: そうですね。専門用語については辞書で調べて、正確な発音についてはネイティブの先生に確認して学習していきます。しかし、やはり調べることが一番大変だったと思います。インターネットなどを利用して英語で調べて、読んで、理解して、要点をまとめていくという作業は大変でしたね。



©MKASA

TIMES: 模擬国連会議を開催するまでのネイティブの先生の役割は？

小川さん: 全体の基本的なガイダンスや準備については誘導してくれませんが、基本的には国際生だけで調査して開催に向けて進めなければなりません。あとは見守ってくれていますね(笑)。会場には国際生だけでなく一般の方々もいらしゃいますので緊張しましたが、長い準備期間を経て、短い時間の発表が終わった時には、達成感と充実感がありますね。将来は国際関係の機関で働きたいので、多くの人の前で英語で話すことはい経験になったと思います。

TIMES: 細井君は以前に高円宮杯中学生英語弁論大会の決勝に進出したと新聞記事で見ましたが、英語で発表する模擬国連活動のプレゼンについてどう考えていますか？

細井君: 僕はまだ高校1年生なので、再来年に参加することになると思います。自分の意見を英語で短く発表するという学習は、中等部の頃からネイティブの授業でしていますので、練習を重ねればできると思います。

TIMES: 少しずつでも英語を発表することが習慣になれる環境はいいですね。

細井君: また、僕は英語がスピーチ向けの言語だなとも思います。日本語は前から形容しますが、英語では順番がその逆になりますよね。先に目的とする単語を多くの観客に伝えることができます。そのため印象的なプレゼンすることも可能だと思います。これからの時代を生きる国際生たちは、世界規模の様々な問題に直面する可能性があります。その時、彼らは問題解決に向けて、他の国と若者たちと話し合おう。おそらく言語は主に英語になると思います。相手の国の立場も理解した上で、自分の意見を言わなければなりません。この授業はそのための訓練だと考えています。

TIMES: ありがとうございます。■



▲細井浩平君



▲Dan先生

What is

模擬国連の歴史

模擬国連の実践は1923年にハーバード大学から始まり、現在では世界の高等教育および中等教育機関の授業で採用されています。日本では1983年に緒方貞子氏(現独立行政法人国際協力機構理事長)の下に発足し、国内では300名近い大学生や大学院生が模擬国連活動に参加しています。

Hot! Information

① Wind Orchestra 第6回 定期演奏会

2010年12月26日(日) 12:30開場／13:00開演

私 たち吹奏楽部にとって最も演奏機会の多い2学期、その集大成となる定期演奏会が近づいてきました。毎年春からレパートリーを増やし夏には集中練習、そして12月の最終練習で曲目を仕上げていきます。今年は打楽器奏者、野々垣行恵さんをゲストソリストにお招きし、ウィルあいちでのコンサートです。部員一同熱のこもった練習を毎日続けてきました。ご満足頂ける演奏会にしたいと思っていますので、是非聴きにきてください。■

- 場所/ウィルあいち 地下鉄「市役所」駅2番出口より東へ徒歩約10分 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分
- 入場無料(整理券不要)
- 指揮:武藤浩司(吹奏楽部顧問)
- ゲストソリスト:野々垣行恵(打楽器奏者)
- プログラム:パレエ音楽(くるみ割人形) ファンタジー(チャイコフスキー) ダッタン人の踊り(ボロディン) コーラス・ライヴ・メドレー(ハムリッシュ) 他



Designed by Satou SUZUKI

② 名古屋国際オープンクラスウェア 来春始動!



名 古屋国際オープンクラスウェア(OPENCLASSWARE)は、名古屋国際のネイティブ教員が作成した音声教材の一部をデジタル化し、無償で提供するものです。名古屋国際の在校生、卒業生であるなしに関わらず、広く一般の方々の英語コミュニケーション学習の参考にしていただけることを目的としており、本校の国際教育推進活動の一環として取り組んでいます。■

THE FRONTIER TIMES

Report

全国NO.1の国際生たち!

10 月末にシャルム エルシェイク(エジプト)で開催されたレーシングカートのWSK Worldシリーズ最終戦KF3クラスで、本校の笠井崇志君がワールドシリーズ初参戦で日本人初優勝という素晴らしい結果をおさめました。Congratulations!■



笠井崇志君
(中高一貫3年生)

Great Dialogue from the Movies

“My momma always said, ‘Life is like a box of chocolates. You never know what you're gonna get.’”

「人生はチョコレート箱のようなもの。開けてみるまでわからない。ってママがよく言っていたんだ」

『フォレストガンプ/一期一会』(1994)は、ハリウッド映画の中でも有名な作品の一つです。主人公フォレストガンプ(トム・ハンクス)は、知能は劣っていますが、彼の愛情ある人柄が、数々の興味深く、人生を変える状況を引き起こします。ケネディ大統領といった数々の歴史的人物にも出会うこととなります。

映画は、フォレストが足元に舞い落ちる羽を見ているシーンから始まります。その羽を拾い、バス停にいる人々に彼の人生を語り始めます。最初は彼の話に懐疑的で無関心だった人々も、次第に興味を抱き惹きつけられていきます。

困難を乗り越える主人公の姿は、見る者の無垢な心を呼び覚まします。

6億ドル超の収益をあげ、最優秀作品賞、主演男優賞(トム・ハンクス)、監督賞(ロバート・ゼメキス)を含む全6部門のアカデミー賞を獲得しました。映画の中で繰り返される冒頭の有名なセリフは、フォレストの母への純朴な愛情を浮き彫りにしています。■

Forrest Gump (1994) is one of the most popular Hollywood films ever made. The title character, Forrest Gump (Tom Hanks) possesses an IQ of 75. However, he has an endearing personality that brings him into many interesting and life-changing situations. Along the way, he meets many historical figures such as President John F. Kennedy. The film begins with Forrest watching a feather fall to his feet. He picks it up and begins to tell his life story. As the narrative progresses, the other people at the bus stop to listen, at first in disbelief and indifference, but then with increasing interest and fascination. The film is basically a feel-good story about overcoming obstacles and listening to the child within. The film earned over 600 million dollars and won 6 Academy Awards, including Best Picture, a Best Actor award for Hanks and a Best Director award for Robert Zemeckis. The famous quote above is repeated several times in the film and highlights Forrest's almost child-like love for his mother. ■